

# 今後の検討の進め方について(討議の叩き台)

上山 信一

## 1. 一般的な論点整理

- 大型作品の展示施設(美術館)を持たない大阪府庁は今後もずっと作品を持ち続けるべきか・基本方針が必要ではないか
  - ・個々の作品の価値、意義や需要動向によるので一般論は困難
  - ・各作品の作家や遺族の意向確認も必要
  - ・予算の制約も確認必要
  
- 現在の規模以上に公共、民間施設で展示する場所が考えられないか？
  - ・他の美術館等への譲渡や長期貸与？
  - ・企業、病院、駅など
  - ・保管しながら展示する施設の可能性(工場など)？
  - ・例えば大学等での展示活用の可能性？
  
- 保管、貸し出しをする場合、どういう体制が必要か(広報、学芸等)

## 2. 作品別に考えるべき実務・具体検討課題

- (前提)それぞれの作品の制作経緯、価値の再評価、状態確認(動かしにくい等)、展示コスト、作家の意向確認が必要。その上で作品別に活用・保全の方針を考える
- 展示・研究ニーズの見極め等
  - 具体的なマッチングをどうやるか(貸し借り、譲渡等)

(注)2 の作業をやるためには専門作業スタッフへの業務委託が必要か